



コミュニティ・スクール基本理念

—地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成—

川崎小学校 めざす学校像

ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

NO.6 令和7年5月15日 校長

運動会についてのご連絡

【プログラムについて】

運動会について、5月9日のPTA役員会で確認した事項におきまして、お知らせします。今年度も同様、午前と午後の時間を使って、全校児童が一堂に会する運動会を行います。

昨年度の運動会はプログラムの多さから、運動会当日、準備や運営に携わる高学年に多忙さがみられました。また昨年の夏は“観測史上一番暑い夏”ということもあり練習段階から暑さによる体調不良を訴える児童も多くいました。さらに、今年の夏は全国的に気温が高いと予想されており、しかも昨年度より1週間遅い開催です。

そこでこのような状況を勘案し、種目については減らしつつも150周年記念運動会にふさわしい内容となるよう、関係者の皆様の意見を聞きながら、取組をすすめています。もちろん子どもたちの競技や演技に加え、PTA種目やまち協さん等、地域の方の種目も行う予定です。なお、参観者の人数制限は設けません。

【観覧場所について】

過去に運動場での場所とりが大変であるという声や高齢者席を設けてほしいという声を反映し、令和6年度から運動場のトラック周辺は、「思いやり席」、「立ち見席」に限定しました。大変ご好評でした。

そこで今年度も「思いやり席」は高齢者の方、「立ち見席」は出場する学年の保護者の方を優先して観覧していただく方法をとります。種目に応じて、立ち見席の観覧者を入れ替えます。また、立ち見席の後方に、座っていただいたり荷物を置いたりできる場所を設定します。さらに、観覧席の地区割もなくして、どこからでも、移動しながら見ていただけるような方法をとります。たくさんの方々に楽しんでいただくためにも、場所取りはご遠慮いただきますようお願いします。

【昼食について】

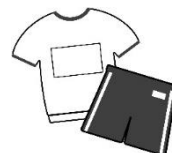
親子・ご家族でお弁当を食べる運動会ならではの家族団らんの時間を重視し、校内を広く開放して、ご家族一緒に昼食をとる形とします。具体的には運動場に加え、校舎南側全面、体育館、外の広場、校舎内の「うちの広場」等を開放し、そこで適宜昼食をとっていただけます。これらの工夫により、以前のような場所とりが本年度も解消されることを期待しています。詳細につきましては、後日改めてお知らせします。



【体操服の着替えについて】【現在もすでに進めていただいていますので確認です】

5月19日から運動会の練習が始まります。令和2年度に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体育のある日に限って、体操服で登下校をしてもよいことにしました。その結果、体操服の忘れ物が格段に減り、着替え等の準備に要する時間が短縮できたとの意見いただきました。そこで現在も体育の授業のある日に体操服で登下校してもよいことにしています。

なお、衛生面等を考えて、学校で着替えをしたい人は更衣室で着替えても構いません。お子様の体調などを考慮いただき、ご準備いただきますようお願いいたします。



【暑い季節が目前です 熱中症対策について】

令和 05 年 08 月 05 日付 三重県教育委員会発出の通知より

学校教育活動における熱中症事故防止について

三重県教育委員会では、他県で、中学生の死亡事案(熱中症疑い)が発生したことを受け、学校教育活動における熱中症事故防止について以下のとおり徹底することとしました。

1 暑さ指数(WBGT)に基づいた対応

(1)活動場所の暑さ指数(WBGT)が31° C以上の場合

⇒「運動は中止する」

(2)活動場所の暑さ指数(WBGT)が28° C以上31° C未満の場合

⇒「熱中症の危険性が高いため、激しい運動や体温が上昇しやすい運動は避け、必要に応じて運動は中止する」

暑さ指数に応じた注意事項等※1

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活 活動の目安(※1)	日常生活における注意事項(※1)	熱中症予防運動指針(※2)
31℃以上	すべての 生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
28～31℃		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒(激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人*は運動を軽減または中止。
25～28℃	中等度以上の 生活活動で おこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。	警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21～25℃	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

(※1) 日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.3」(2013)より

(※2) 日本スポーツ協会「熱中症予防運動指針」(2019)より、同指針補足 熱中症の発症のリスクは個人差が大きく、運動強度も大きく関係する。

運動指針は平均的な目安であり、スポーツ現場では個人差や競技特性に配慮する。

*暑さに弱い人:体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など。

※1 環境省『夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン 2020』

※2 環境省 熱中症予防情報サイト (<https://www.wbgt.env.go.jp/>)

本校におきましても、これに準じて教育活動を行います。保護者の皆様におかれましては、熱中症防止のために以下の持ち物を持たせてください。

【毎日】

・水筒(十分な量を持たせてください)

※お茶の補助としてスポーツドリンクも持参可

(下段参照)

・ハンカチ(子どもは汗かきです。予備も1枚以上ランドセルに持たせてください)

【必要に応じて】

・ぼうし(日傘もOK)

・汗ふき用タオル

(子どもは汗かきです。ハンカチとは別のものをご準備ください)



【スポーツドリンクの持参・飲用許可について】

保護者の皆様が熱中症対策のために必要であると判断した場合に限り、運動会の練習が始まる5月19日から、お茶持参の上に、さらにスポーツドリンクを持参し、飲用することを認めます。学校への申請は不要です。

運動で汗をたくさんかいた時は、塩分(ナトリウム)などのミネラルをとることが必要で、スポーツドリンクなどを飲むことが効果的とされています。一方で、飲みすぎると糖分の過剰摂取や虫歯の原因、ビタミンB1を大量に消費して集中力が続かなくなることなどが心配されます。

量や飲み方等についてはお子様とよく話し合った上で持参・飲用させるようにお願いします。(持たせるペットボトル等にも記名をお願いします)

